特殊詐欺未然防止事例（令和3年）

県内では、金融機関をはじめ、各関係機関と連携した特殊詐欺被害防止対策を推進しています。
ここでは、岩手県内で実際に被害を未然に防いでいただいた好事例を紹介いたします。（朱書き部分は令和4年1月更新分）

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
72	2021	12	27	その他	その他	還付金	0	家族・親族	女	60歳代	被害者は、自治体職員や金融機関職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、ATMに行くために外出しようとした。外出理由を尋ねた同居家族は、被害者から上記経緯の説明を受けると、詐欺の可能性が高いと認め、当該金融機関に問い合わせるよう助言し、被害を未然に防止した。
71	2021	12	27	その他	ATM	還付金	0	一般人	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、携帯電話で被疑者から指示を受けながら、金融機関のATMで手続きしようとした。上記様子を見ていた一般客が不審を抱き、窓口職員に知らせ、同職員の声掛けに至り、被害を未然に防止した。
70	2021	12	25	その他	その他	架空料金請求	299,600	友人・知人	女	50歳代	被害者は、架空料金請求のメールに記載された電話番号に連絡したところ、インターネット利用料金として左記金額を請求され、仕事中であったため、「支払うので、また折り返す」旨返答して電話を切った。その後、上記経緯を聞いた友人は、詐欺である旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
69	2021	12	23	コンビニ	窓口	交際あっせん	3,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、「異性と交際できる」旨のメールに騙されて、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。対応した店員は、被害者が高齢であることから不審を抱き声を掛け、警察へ通報し被害を未然に防止した。
68	2021	12	16	信用金庫	窓口	架空料金請求	0	金融機関職員	男	70歳代	被害者は、「宝くじ当選通知」と記載の封書に騙され、振込のため左記金融機関を訪れた。窓口で対応した職員は、上記経緯の説明を受け、即座に詐欺と認め、その旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
67	2021	12	6	労働金庫	ATM	還付金	0	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、携帯電話で被疑者から指示を受けながらATMで手続きしようとした。上記様子を見ていた職員が不審を抱き、声を掛けるとともに、電話を代わるなどして、被害を未然に防止した。
66	2021	12	3	信用金庫	ATM	還付金	0	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、携帯電話で被疑者から指示を受けながらATMで手続きしようとした。上記様子を見ていた職員が不審を抱き、声を掛けるとともに、電話を代わるなどして、被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
65	2021	11	28	コンビニ	窓口	架空料金請求	300,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、指示に従うがまま左記店舗で電子マネーを購入しようとした。 対応した店員は購入額が高額であることに不審を抱き購入経緯を確認し、内容から詐欺と看破して、警察への通報を促すなどして被害を未然に防止した。
64	2021	11	25	地方銀行	ATM	架空料金請求	300,000	金融機関職員	女	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、指定された口座に送金するため、左記金融機関で、被疑者に電話で指示を受けながらATMを操作していた。 同状況に気付いた職員が不審を抱き、声を掛けた上、事情を聞いて即座に詐欺と看破し、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
63	2021	11	22	コンビニ	その他	架空料金請求	60,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者から電話で指示を受けながら左記店舗に行き、電子マネーを購入しようとしたが、購入方法が分からなかったため店員に尋ねた。 対応した店員は一旦店内専用端末まで案内したが、被害者の購入希望額が高額であったことから不審を抱き、付近備え付け注意喚起用チラシを呈示しながら詐欺の可能性を指摘した。 被害者は当初説得に応じなかったが、同店店長も加わり、粘り強く説得して電話を切らせた上、購入を断念させるなどして被害を未然に防止した。
62	2021	11	16	その他	その他	オレオレ	0	家族・親族	女	70歳代	被害者は、息子を騙るオレオレ詐欺の電話に騙され、「通帳の残高を教えてほしい」旨の指示に従い、通帳を管理している家族に事情を話して残高を確認しようとした。 事情を聞いた家族は詐欺を疑い、息子本人への事実確認や警察への通報を促し、被害を未然に防止した。
61	2021	11	16	郵便局_ゆうちょ銀行	ATM	架空料金請求	494,000	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、指定された口座に送金するため、左記金融機関で、被疑者に電話で指示を受けながらATMを操作していた。 同状況をモニターで見ていた職員は携帯電話で通話している状況に不審を抱き、声を掛けた上、事情を聞いて即座に詐欺と看破し、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
60	2021	11	10	コンビニ	窓口	架空料金請求	35,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、指示に従うがまま左記店舗で電子マネーを購入しようとした。 対応した店員は被害者の言動に不審を抱き購入経緯を確認し、内容から詐欺と看破して、警察への通報を促すなどして被害を未然に防止した。
59	2021	11	9	郵便局_ゆうちょ銀行	窓口	架空料金請求	299,600	金融機関職員	女	70歳代	被害者は、「未納料金がある」旨の架空料金請求のメールに騙され、その後、指示に従うがまま、お金を振り込むため左記金融機関を訪れた。 被害者は振込手続き前に、利用料金を支払い済みであることを思い出し、窓口職員に経緯と話したところ、対応した職員は即座に詐欺と看破してその旨指摘するとともに、その後被害者の携帯電話にあった被疑者からの着信も出ないように促すなど、被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
58	2021	11	4	コンビニ	窓口	架空料金請求	33,000	コンビニ店員	男	40歳代	被害者は、「当選金がある」旨のメールに騙され、指示に従うがまま電子ギフト券を購入しようと、その旨実母に依頼した。 依頼を受けた実母は詐欺の可能性を認識するも、依頼を断り切れず左記店舗で電子ギフト券を購入しようとしたが、購入方法が分からなかったため店員に尋ねた。 事情を聞いた店員は即座に詐欺と看破し、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
57	2021	10	29	地方銀行	窓口	架空料金請求	100,000	金融機関職員	女	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者に指定された口座に振り込むため左記金融機関窓口を訪れた。 同金融機関では、被害者が数日前に訪れ多額現金を借入しようとした際に、使途に関する質問に窮していたことなどから不審を抱き、次回来店の際は不審点等あれば警察に通報することとしていたことから、今回来店時、被害者が振込理由等の説明を拒否したことで、即座に警察に通報し、被害を未然に防止した.
56	2021	10	25	その他	ATM	還付金	490,000	一般人	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従うがままATMに行き手続きしようとしたが、その様子を見ていた一般客が不審を抱き、「詐欺ではないか」旨声を掛けるとともに、付近の職員とともに助言するなどして、被害を未然に防止した。
55	2021	10	16	コンビニ	窓口	架空料金請求	75,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員が購入額が高額であることや被害者の言動に不審を抱き使途を尋ねたところ、「ウイルスに感染したパソコンを修理する」などと話したことから、詐欺の可能性がある旨指摘するとともに、警察へ通報し、被害を未然に防止した。
54	2021	10	13	その他	その他	架空料金請求	350,000	家族・親族	女	20歳代	被害者は、ワンクリック詐欺の電話に騙され被疑者の指示に従うがまま、コンビニへ行き左記金額の電子マネーを購入した。 帰宅後、被害者は電子マネーのプリペイド番号を被疑者に電話で伝えたものであるが、その様子を見ていた母親が不審を抱き、すぐさま電子マネー発行会社に連絡したことで、同電子マネーが利用されることはなく、実害がなかったもの。
53	2021	10	8	郵便局_ゆうちょ銀行	窓口	還付金	0	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従うがままATMに行き手続きしようとしたが、残高不足により手続きできず、窓口職員に対応を求めた。 対応した職員は上記経緯を聞き、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
52	2021	10	4	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	男	80歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員が購入額が高額であることや被害者の言動に不審を抱き使途を尋ねたところ、「パソコン修理のため」などと話したことから、詐欺の可能性がある旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
51	2021	10	1	コンビニ	窓口	架空料金請求	3,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、「数億円が貰える」というメールに騙され、指示に従うがままコンビニへ行き電子マネーを購入しようとしたが、購入方法が分からず店員に尋ねた。 対応した店員は上記経緯を聞き、詐欺の可能性がある旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
50	2021	9	28	コンビニ	窓口	架空料金請求	80,000	コンビニ店員	男	80歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員が被害者に使途を尋ねたところ、「ゲームアプリに課金するため」と申し立てたものであるが、言動に不審を抱いた店員がさらにアプリ名を尋ねると、返答に窮したことから、不審感をさらに強め、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
49	2021	9	23	コンビニ	窓口	架空料金請求	80,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は購入額が高額であることや被害者の言動に不審を抱き、詐欺の可能性がある旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
48	2021	9	23	コンビニ	窓口	架空料金請求	30,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員が被害者に使途を尋ねたところ、「パソコンがウイルスに感染した」などと申し立てたことから、詐欺と認めその旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
47	2021	9	17	地方銀行	窓口	架空料金請求	3,000	金融機関職員	女	70歳代	被害者は、「2億円受け取れる」旨のメールに騙され、画面表示の指示に従い、振込のため左記金融機関を訪れた。 さらに、窓口において「数億円が当たったというメールが来たので、送金のために銀行コードを教えてほしい」などと話したことから、対応した職員が詐欺と認め、その旨指摘するとともに、警察に通報し、被害を未然に防止した。
46	2021	9	13	その他	その他	架空料金請求	0	家族・親族	女	80歳代	被害者は、自宅固定電話に架空の団体を名乗る者らから立て続けに電話があり、「個人情報が洩れて通販会社数社に会員登録されている」、「会員登録を解除できない一社については別の男が代わりに会員になる」などと言われ、同話を信じ、以降男らの指示に従い指定された電話番号に電話するなどしていた。 電話で上記経緯を聞いた別居家族は、内容に不審を抱き、被害者がメモしていた連絡先をインターネット検索したところ、闇金業者等に利用されていた電話番号であることがわかったことから、その旨指摘するとともに、以降連絡しないよう助言するなどして被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
45	2021	9	11	コンビニ	窓口	架空料金請求	300,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入しようと、店員に購入方法を尋ねた。 対応した店員は、電子ギフト券の種類すらわからない被害者に不審を抱き、使途を尋ねた被害者に使途を尋ねたところ、「未納料金があると言われた」などと申し立てたことから、詐欺と認めその旨指摘するとともに、警察への相談を促し、被害を未然に防止した。
44	2021	9	2	地方銀行	窓口	その他	10,000	金融機関職員	女	70歳代	被害者は、自称俳優を名乗る者からのメールに騙され、連絡手段として指定されたチャット利用料金を支払うために左記金融機関を訪れた。 窓口対応した職員が送金理由を尋ねたところ、上記経緯を話したことから、すぐに詐欺の可能性を認め、上司らとともに同様の被害事例などを取り上げ、丁寧に説得するなどして被害を未然に防止した。
43	2021	8	27	コンビニ	窓口	架空料金請求	30,000	コンビニ店員	女	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようと、購入方法を店員に尋ねた。 対応した店員は上記経緯を被害者から聞き、すぐに詐欺である旨指摘し、警察への相談を促して被害を未然に防止した。
42	2021	8	21	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	女	40歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員が不審を抱き、購入理由を尋ねたところ、「パソコンがウイルスに感染した」旨申し立てたことから、すぐに詐欺である旨指摘するとともに警察に通報し、被害を未然に防止した。
41	2021	8	1	その他	その他	その他	20,000	家族・親族	女	40歳代	被害者は、副業サイトで1000万円の利益が得られたものと騙され、支払い手数料として左記金額を請求されたものであるが、同状況を見た家族が詐欺である旨指摘するとともに、納得しない被害者を連れて警察署に相談に赴くなどして説得し、被害を未然に防止したもの。
40	2021	7	21	郵便局_ゆうちょ銀行	窓口	還付金	0	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従うがままATMに行き手続きしようとしたが、手続き方法が分からず窓口職員に対応を求めた。 対応した職員は上記経緯を聞き、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
39	2021	7	5	コンビニ	窓口	架空料金請求	200,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入した。しかし、購入時に店員が「詐欺ではないか」旨声を掛けていたため、帰宅後、不審を抱いた被害者が、ID番号を伝える前に警察に相談し、実質的な被害を免れたもの。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
38	2021	7	1	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	女	70歳代	被害者は、「〇億円が当選した」旨のメールに騙され、画面表示に従い、コンビニに行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、購入金額が高額であることや、被害者が過去に同様の被害に遭っていたことなどから、詐欺の可能性が高いと認め、その旨指摘するとともに警察へ通報して被害を未然に防止した。
37	2021	7	5	コンビニ	窓口	架空料金請求	200,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き電子ギフト券を購入した。しかし、購入時に店員が「詐欺ではないか」旨声を掛けていたため、帰宅後、不審を抱いた被害者が、ID番号を伝える前に警察に相談し、実質的な被害を免れたもの。
36	2021	7	1	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	女	70歳代	被害者は、「〇億円が当選した」旨のメールに騙され、画面表示に従い、コンビニに行き電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、購入金額が高額であることや、被害者が過去に同様の被害に遭っていたことなどから、詐欺の可能性が高いと認め、その旨指摘するとともに警察へ通報して被害を未然に防止した。
35	2021	6	23	コンビニ	窓口	架空料金請求	30,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、「国民特別救済金がある」旨のメールに騙され、添付されたURLにアクセスしたところ、手続き費用として、左記金額を請求されたためコンビニへ行き電子マネーを購入しようとした。 対応した店員は、被害者の態度に不審を抱き声を掛け、警察へ通報し被害を未然に防止した。
34	2021	6	17	その他	その他	還付金	0	家族・親族	女	70歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、その指示に従い最寄りの金融機関に行こうとしていた。 しかし、電話のやり取りを傍らで聞いていた被害者の夫は、「還付」や「銀行」などの言葉に不審を抱き、電話終了後、被害者に対して自治体に直接確認するよう指導するとともに、上記事実がないと分かると警察へ通報し、被害を未然に防止したもの。
33	2021	6	16	その他	その他	架空料金請求	30,000	家族・親族	女	60歳代	被害者は、インターネット利用中に表示された警告画面に騙され、表示された電話番号に架電し、被疑者に聞かれるがままクレジットカードの番号を伝えた。 電話の直後、上記経緯を聞いた家族が詐欺である旨指摘し、早期にクレジットカードの利用停止措置をとり、被害を未然に防止した。
32	2021	6	16	地方銀行	ATM	オレオレ	2,000,000	金融機関システム	女	60歳代	被害者は、家族をかたるオレオレ詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従い、最寄り金融機関のATMに行き、実父（90歳代）名義のキャッシュカードにより左記金額を出金しようとした。 しかし、同金融機関の引出制限により20万円しか出金できなかったことで、その後不足分を工面しようと家族に電話した際に詐欺と気付き、被害を免れたもの。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
31	2021	6	16	その他	その他	オレオレ	1,000,000	ホームヘルパー	女	80歳代	被害者は、家族をかたるオレオレ詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従い左記金額の現金を用意した。 その後、自宅を訪ねたホームヘルパーは、外出しようとする被害者から上記経緯を聞き、すぐに詐欺と気付き説得を試みるも、被害者は頑として聞かなかったことから、指定された待ち合わせ場所まで同行しながら説得を継続した。 一方、上記ヘルパーから連絡を受けた事務所の上司は、家族へ連絡して架電事実がないことを確認の上警察への通報を依頼するとともに、自宅で待機し、その後上記ヘルパーの説得に応じ渋々帰宅した被害者に対して、その旨説明し納得させ、連携して被害を未然に防止した。
30	2021	6	14	郵便局_ゆうちょ銀行	窓口	還付金	0	金融機関職員	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従うがままATMに行き手続きしようとしたが、相手側の電話番号を記載したメモを自宅に忘れたため、窓口職員に対応を求めた。 対応した職員は上記経緯を聞き、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
29	2021	5	30	コンビニ	窓口	架空料金請求	40,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙されて被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者の購入金額が高額であることに不審を抱き、購入理由を尋ねたところ、上記経緯を説明したことから詐欺の可能性が高いと認め、警察に通報し被害を未然に防止した。
28	2021	5	22	コンビニ	窓口	架空料金請求	32,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙されて被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子マネーを購入しようとした。 対応した店員は、被害者の態度などから不審を抱き、購入理由を尋ねたところ、上記経緯を説明したことから詐欺の可能性が高いと認め、警察に通報し被害を未然に防止した。
27	2021	5	21	コンビニ	窓口	架空料金請求	40,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙されて被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者の購入金額が高額であることに不審を抱き、購入理由を尋ねたところ、上記経緯を説明したことから詐欺の可能性が高いと認め、警察に通報し被害を未然に防止した。
26	2021	5	20	その他	その他	預貯金	0	友人・知人	女	80歳代	被害者は、市役所職員や金融機関職員をかたる男らに「還付金の手続きがある」、「キャッシュカードが古く交換する必要があるため自宅に伺う」などと言われ、その話を信じて待っていたところ、被害者宅を訪れた友人が上記経緯を聞き、詐欺である旨指摘するとともに市役所や警察への連絡を促し被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
25	2021	5	19	その他	ATM	架空料金請求	0	スーパーマーケット店員	女	60歳代	被害者は、市役所職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、近くのスーパーへ行き、携帯電話で被疑者の指示を受けながらATMを操作しようとした 上記状況を見ていた客（氏名等不詳）から情報提供を受けた店員は、被害者に声を掛けるとともに、電話に出ないよう説得するなどして被害を未然に防止した。
24	2021	5	8	コンビニ	窓口	架空料金請求	150,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙されて被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者の購入金額が高額であることに不審を抱き、購入経緯を尋ねたところ、「コンピューターウイルスの修理名目で要求された。」旨話したことから詐欺の可能性を認め、警察に通報し被害を未然に防止した。
23	2021	4	28	コンビニ	ATM	還付金	0	コンビニ店員	女	60歳代	被害者は、市役所職員をかたる還付金詐欺電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、ATMを操作しようとしたが操作に不慣れであったため、店員に操作方法を尋ねた。 対応した店員が利用理由を尋ねたところ、被害者が上記経緯を説明したため、不審を抱き、市役所に架電の上、警察への相談を促し被害を未然に防止した。
22	2021	4	28	コンビニ	窓口	架空料金請求	350,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、店内マルチ端末機で電子マネーを購入しようとした。 同機器の操作方法について尋ねられた店員は、購入額が高額であることに不審を抱き事情を聞いたところ、上記経緯について説明を受けたため、詐欺であることを看破するとともに、警察への相談を促して被害を未然に防止した。
21	2021	4	22	コンビニ	ATM	架空料金請求	150,000	コンビニ店員	男	80歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、購入額が高額であることや被害者がメモを見ていることに不審を抱き声を掛け、警察への相談を促して被害を未然に防止した。
20	2021	4	20	コンビニ	窓口	架空料金請求	30,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 被害者は左記請求金額が途中で変更されたことについて腑に落ちず、購入時に店員に相談した。 対応した店員は、上記経緯から詐欺であることを看破し、警察へ通報して被害を未然に防止した。
19	2021	4	19	その他	その他	架空料金請求	32,000	販売員	女	60歳代	被害者は、架空料金請求のメールに記載された電話番号に架電したところ、「未納料金があり3万2,000円必要だ。〇時ころに近くのコンビニへ行き、着いたら携帯電話で連絡するように。」などと言われたため、コンビニへ行く準備をしていた。 被害者が外出する直前、偶然同人宅を訪れた左記販売員は、被害者から上記経緯を聞き、すぐに詐欺であることを看破し、その旨指摘するとともに、警察への相談を促して被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
18	2021	4	14	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	女	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、店内マルチ端末機で電子マネーを購入しようとした。 同機器の操作方法について尋ねられた店員は、被害者の言動などから詐欺の可能性を認めたため、警察に通報して被害を未然に防止した。
17	2021	4	3	コンビニ	窓口	架空料金請求	25,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者が同日中にすでに数万円分の電子ギフト券を購入していたことから、不審を抱き声を掛け、警察に通報して被害を未然に防止した。
16	2021	3	27	コンビニ	窓口	架空料金請求	50,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者がメモを見ながら不安げな表情で購入しようしていたため、不審を抱き声を掛け、警察へ通報し被害を未然に防止した。
15	2021	3	23	コンビニ	窓口	架空料金請求	40,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、購入額が高額であることに不審を抱き声を掛け、警察へ通報し被害を未然に防止した。
14	2021	3	19	コンビニ	窓口	架空料金請求	400,000	コンビニ店員	男	60歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券20万円分を購入しようとした。 対応した店員は、購入額が高額であることに不審を抱き声を掛け、警察に通報した。 警察官が聴取した結果、被害者は左記の前日、すでに20万円分の電子ギフト券を購入していたことが判明したため、購入記録から電子マネー会社に連絡したところ、被害回復が為され、両日合計40万円分の被害が未然に防止された。
13	2021	3	18	その他	その他	還付金	0	一般人	女	60歳代	被害者は、自治体職員をかたる還付金詐欺電話に騙され、被疑者の指示に従うがままATMに行き手続きしようとしたが、操作方法が分からず戸惑っていたところ、不審に感じた一般人が声をかけ、警察に通報するなどして被害を未然に防止した。
12	2021	3	17	コンビニ	窓口	架空料金請求	3,000	コンビニ店員	女	70歳代	被害者は、間違いメールに返信したことをきっかけに、身に覚えのないチャット利用料を支払うよう要求され、被疑者の指示に従うがまま電子マネーを購入しようとコンビニに行った。 対応した店員が購入理由を聞いたところ、上記事情について説明を受けたため、詐欺の可能性があると判断し警察へ通報して、被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額 （円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
11	2021	3	15	その他	その他	架空料金請求	100,000	家族・親族	女	50歳代	被害者は、自宅パソコンでインターネットを利用中、ウイルス感染の警告メッセージが表示されたため、記載の電話番号に架電したところ、電話口の男から「セキュリティ対策のために10万円が必要だ」などと言われた。 しかし、電話のやり取りを傍らで聞いていた息子が不審を抱き電話を代わり、その旨指摘して被害を未然に防止したもの。
10	2021	2	24	コンビニ	窓口	架空料金請求	20,000	コンビニ店員	男	80歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、被害者が同日2回目の購入であることに不審を抱き声を掛け、警察へ通報し被害を未然に防止した。
9	2021	2	17	地方銀行	窓口	架空料金請求	30,000	金融機関職員	男	50歳代	被害者は、「未納料金がある。」旨の電話に騙され、被疑者の指示に従うがまま、左記金融機関に行きATMで送金しようとしたが、操作に不慣れでATM前で戸惑っていた。 金融機関職員は、上記状況に不審を抱き声を掛けたものであり、被害者が話した上記経緯から詐欺の可能性が高いと認め、警察へ通報し被害を未然に防止した。
8	2021	2	17	地方銀行	窓口	その他	300,000	金融機関職員	女	50歳代	被害者は、外国人男性を名乗る男のSNSメッセージに騙され、同男の渡航費用として左記金額を指定口座に送金しようとした。 窓口で対応した職員は、送金先口座が外国人名義であることに不審を抱き、詐欺の可能性を指摘するとともに警察への相談を促し被害を未然に防止した。
7	2021	2	12	郵便局_ゆうちょ銀行	窓口	架空料金請求	3,000	金融機関職員	男	70歳代	被害者は、「宝くじに当選した。」旨の封書に騙されて、金融機関の窓口で現金入りの封筒を発送しようとした。 対応した職員は、被害者が以前にも同様の被害を受けていたことから、不審を抱き警察に通報し被害を未然に防止した。
6	2021	1	28	その他銀行	その他	その他	656,700	金融機関職員	女	30歳代	被害者は、「大金が入っている荷物を送る。荷物を受け取るためにはお金が必要だ。」などというSNSのDMに騙され、被疑者の指示に従うがまま、左記金融機関口座から指定口座に数回にわたり送金した。 被害者はさらに、要求金額の残額（左記）も送金しようとしていたが、送金先口座が不審な取引を繰り返していたことで左記銀行が被害者に架電連絡したものであり、事情を聞いた銀行担当者が詐欺被害の可能性を認め、警察への相談を促し更なる被害を防止した。
5	2021	1	29	信用金庫	その他	架空料金請求	8,800	金融機関職員	女	40歳代	被害者は、「ポイントが当選した」旨のメールに騙され、被疑者の指示に従うがまま、指定の口座に入金しようとしたが、当該口座が犯罪利用口座として凍結済みであったため、振込には至らなかった。 上記取引を確認した左記金融機関では、当該口座が凍結済みである旨被害者に電話説明したが理解を得られなかったものであり、被害者がその後も被疑者と連絡を取り合い、再度振込する可能性が高いと判断し、警察へ情報提供し被害を未然に防止した。

No.	水際阻止年月日			水際阻止金融機関等	窓口 ATM	手口	要求金額（円）	水際阻止者	被害者		概要
	年	月	日	種別					性別	年齢	
4	2021	1	26	地方銀行	窓口	その他	9,800	金融機関職員	男	80歳代	被害者は、「1,000万円を渡す」旨のメールに騙され、相手方に指定された出会い系サイトを通じて関係者複数人と連絡を取っていた。 その後、同サイトの利用料金を請求されたため、左記金融機関窓口で現金を振り込もうとしたが、対応した職員が被害者の言動に不審を抱き、使途を確認したところ、被害者が上記経緯を説明した。 職員は説明内容から詐欺の可能性を認め、警察へ通報し、被害を未然に防止した。
3	2021	1	25	コンビニ	窓口	架空料金請求	20,000	コンビニ店員	男	70歳代	被害者は、架空料金請求の電話に騙され、被疑者の指示に従うがままコンビニへ行き、電子ギフト券を購入しようとした。 対応した店員は、購入金額が高額であることに不審を抱き、被害者に詐欺被害の可能性を指摘するとともに警察への通報を促し、被害を未然に防止した。
2	2021	1	10	その他	その他	架空料金請求	0	家族・親族	女	不詳	被害者は、インターネット利用中に表示された警告画面に騙され、表示された電話番号に架電し、被疑者に聞かれるがまま連絡先等を伝えた。 上記経緯を聞いた家族が、不審を抱き警察へ相談したことで、被害を未然に防止した。
1	2021	1	6	地方銀行	ATM	還付金	0	その他	女	60歳代	被害者は、役場職員をかたる男からの電話に騙され、被疑者の指示に従うがまま、役場近くのATMに向かった。 被害者は携帯電話で被疑者と通話しながら指示通りATMを操作をしたものの、左記金融機関の取引制限（65歳以上、過去3年ATMによる振込取引なし）により振込できず、被害を免れたもの。 （振込しようとした金額については不明。）